

平成21年度を振り返る

元気な行田のまちづくり

あんな取り組み

こんな取り組み



市では、「水と緑 個性あふれる文化都市」の実現を目指し、活力に満ちあふれた「元気な行田」、安心・安全な行田のまちづくりを行うための各種事業に取り組んでいます。ここでは、平成21年度に行った都市・生活基盤整備や福祉、教育、商工業・観光対策などの主な取り組みを紹介します。

快適で住みよい まちをつくる

市民の誰もが安心していきいきとした暮らしが送れるように、安全で、便利で、しかも快適な都市・生活基盤づくりを進めます。

水城公園内のバリアフリー化

市民の憩いの場である水城公園のバリアフリー化に取り組み、園路の舗装や段差の解消、照明灯の設置など、誰もが安全に利用できるよう整備しています。

植樹活動で緑の再生

自然環境の保全の重要性を次世代に伝えるため、昨年に続き総合公園内で「いのちを守る森づくり親子植樹祭」を開催。宮脇昭横浜国立大学名誉教授の指導のもと、総勢約400人の親子らが参加し、シラカシやアラカシなど約3千本の苗木を植えました。



親子で協力しながら苗木を植樹

消防・救急体制の強化

市民の生命と財産を守るための消防活動を支えるべく、消防署本署における大型水槽付消防ポンプ自動車の更新、南分署における高規格救急自動車の配備などを行いました。